

令和7年度都立練馬高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	コミュニケーション能力の向上と、基礎的基本的な言語能力の習得	言語活動を通じた他者理解の場を確保する。 小テストを通し語彙能力の向上を図る。	議論におけるファシリテーターや司会進行を行い、コミュニケーションを円滑に行うスキルを身につける。
地歴公民	社会的事象を的確に捉え、自己判断できる能力を育成する	各分野において、過去の経緯や今後の状況の変化を的確に考察し、適切な判断が行えるような教科指導を実施する。	日々発生する様々な出来事において、知識だけでなく各自が考察し、自発的に行動ができるような授業を目指す。
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動	・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	能動的に学ぼうとする環境づくり。	・生徒相互に学ぶ時間の確保。 ・生徒の自由意見を尊重する。 ・考えをまとめ表現する時間の確保。 ・実験例や手順を参考にして実験を行う。	・実験結果を考察し発表する。 ・個人、班で問題演習を行う。
保健体育	生涯にわたり、運動を継続する主体性を身につける。	・各自が種目ごとの目標を設定し、体力の向上を目指す。 ・集団の中で互いに協力し合う態度を養う。 ・ケガや事故を回避する能力を高める。	体育は8単位を必修の上、2年次に2単位、3年次に2単位の選択科目を設け、多くの種目に対して意欲的に取り組む姿勢を育てる。
芸術	自信をもって社会と関わっていける表現力。	・複数の課題に向き合うことで技術力、基礎力の習熟を図る。 ・確かな技術を身につけ、人に感動を与えるパフォーマンスを目指す。	イメージーションを大切に難易度の高い作品や演奏に取り組み、そこから生み出される成果を発表できる場の提供。
英語	基礎的な英語力や語彙力の充実を目指す。	1・2学年各科目で習熟度別授業・少人数制授業の導入 各科目内での単語テスト・小テスト・確認プリントの充実 英語コミュニケーションⅠの授業を中心にJET・ALTとの授業での自己表現力の修得	3年次では必修3単位に加え、選択2単位(4科目)を設け、読解力や表現力を深め、大学入試も視野に入れた学力を養う。
家庭	ライフステージに応じた生活知識の習得	小中学校の学習を踏まえ、衣食住の知識や発達段階を学ぶ	実習を通して知識と技術を結びつける
情報	基礎的な情報技術の習得と情報モラルの理解	パソコンに対する基本的な操作を重視し、他教科の学習に活用できる習得し、情報モラルについて、理解を深め、実社会でも役立つものとする。	SNSに対するモラルについて、さまざまな事例をもとに理解を深め、実社会でも役立つものとする。